

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進委員会
（旧 女性医師活躍推進委員会）

「女性医師活躍推進委員会」の前身「女性医師が学会運営に携わることを推進するWG」は、2014年に、委員長和田和子先生のもとで発足しました。学術集会における各種企画を通して、女性会員の抱える悩みや問題を抽出し解決に向けた様々な提案を行ってきました。2019年には、女性会員が本会の事業に積極的に参加できる環境を整備し、またキャリア形成を図るための課題の抽出や検討を通じて、すべての会員が自らの意思により本会の事業に参加する機会を提供することを目的とした常設委員会として承認されました。特筆すべき活動のひとつは、2020年に公表した「女性医師活躍推進委員会からの提言」

(<https://www.jspnm.jp/uploads/files/guidelines/joseiishi0620.pdf>)の策定です。その後、提言の実現化に向けた議論を進める中で、より多くの会員の皆様にご参画いただける活動を展開するためには、委員会名称の変更が必要であるという結論に至りました。

近年、企業を中心にダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）が浸透しはじめています。本学会も、性別はもちろん基本領域や立場も異なる多様性（ダイバーシティ）に富んだ会員から構成されています。しかしながら、周産期医療の研究、教育、および診療の向上を目指している点では同じ目標に向かっています。エクイティの例えとしてよく用いられるのが、背の高さによって見える景色が違うという話です。このとき、仮に同じ高さの足台が3つあったとして、3名にひとつずつ平等に配布するのは適切でないことは容易に想像できるのではないかと思います。最も背が高い人には不要で、最も背の低い人は二つの足台に乗らないと背の高い人には見える景色が見えないかもしれません。このように、個々の置かれた環境に応じて同じものが見えるように環境を整備する、すなわちエクイティを実現するためにはどうしたら良いかなどを企画・提案できる委員会にしたいと考えました。さらに、会員の誰もが本会の事業に参画して活躍できる場を提供すること（インクルージョン）により、本会の発展、延いては妊産婦やそのご家族、そして子どもたちの福祉や医療の向上にも貢献できるのではないかと考えています。今後とも本委員会の活動にご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

委員長 小谷 友美
副委員長 内山 温

2023. 12. 18